

あおり



優しさを感じる ブナコのランプ

ゆるやかな曲線が紡ぐのびやかなフォルム、リズムカルに刻まれた木目模様。青森県産のブナコは、今、世界のインテリアシーンで大人気のオリジナルブランドです。

1956年、日本一の蓄積量を誇る本県のブナを有効活用するために、旧青森県工業試験場が考案。その製法は、ほかに例がない革新的なものでした。

ブナの丸太を厚さ1ミリにカットらむきしテープ状にカットした後、バウムクーヘンのように巻き、それを湯飲み茶わんなどで押し出して立体的に成型。テープのずらし方の加減で造形のバリエーションが限りなく広がり、さらに、木のかたまりを削って仕上げる挽き物に比べて木の使用量が抑えられることから、エコロジカルなプロダクトとしても高い注目を集めています。

近年、首都圏の一流ホテルやカフェでも採用されている照明器具は、和洋どちらの空間にもマッチする懐の深さが自慢。あかりを灯すと赤味を帯びた光が透ける特性があり、ブナの温もりと命の鼓動があたりを優しく包んでくれます。

▼関連記事はP6で

CONTENTS | 目次

特集 ▶ P2-5

暮らしの中で環境のためにできること

旬を食べよう。あおり野菜で簡単ヘルシークッキング／
青森さらいっぴん 私が出会った青森のイッピン ▶P6

松くい虫被害を防ぎましょう！／

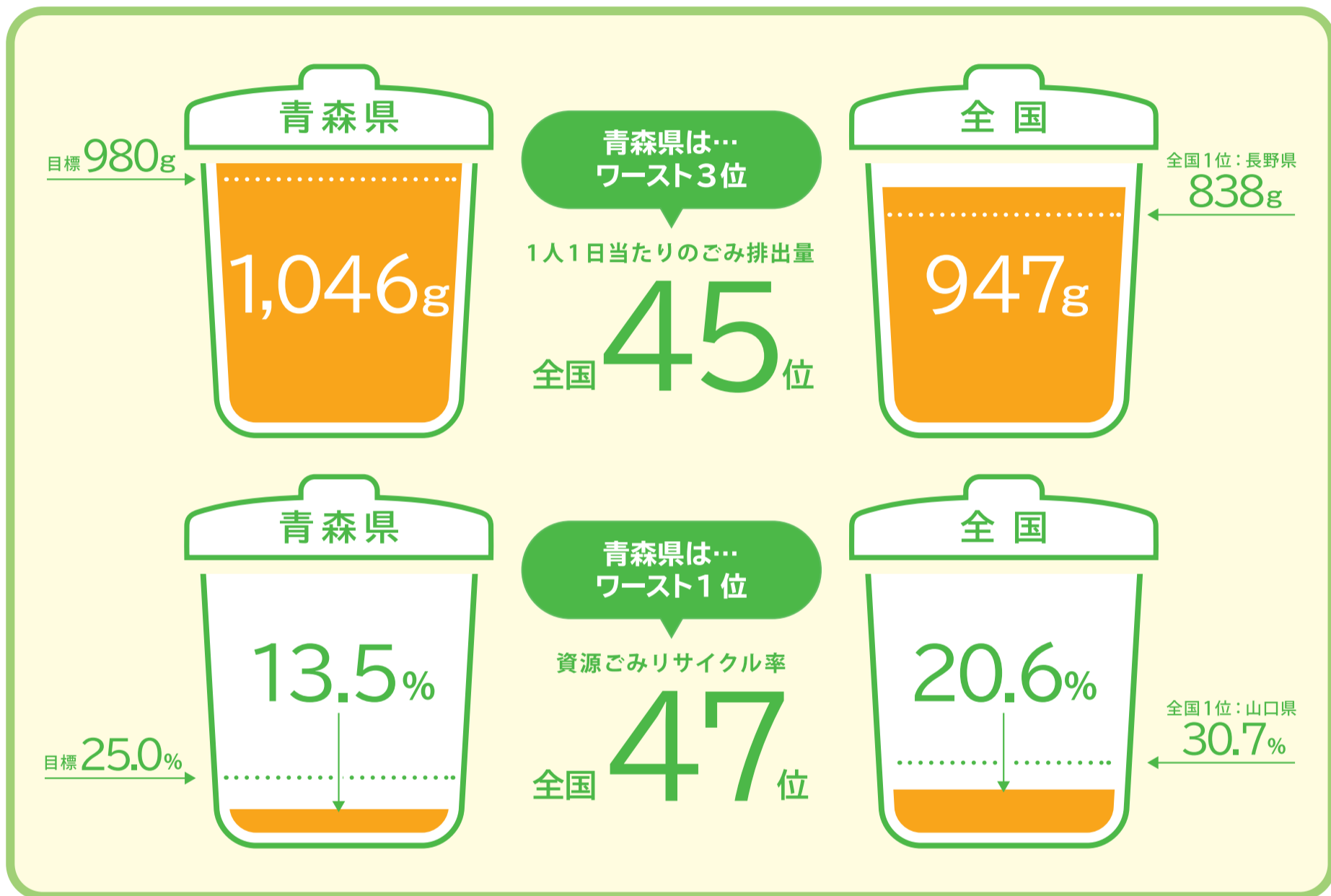
あおり笑顔のおもてなしキャンペーン／

未来は「アナタの声」で変えられる！ ▶P7

申吾のほっとコラム／あおりインフォメーション ▶P8

青森の環境のために みんなで考えよう!

ごみを減らすために



ごみが増えたと 何が問題なの？

青森県は、ごみが多く、リサイクル率は最下位！

青森県内の家庭や職場から出るごみの量を、1人1日当たりで換算すると1,046g(平成26年度)。これは、全国値よりも多く、都道府県順位で全国ワースト3位です。その内訳を見ると、家庭から出る「生活系ごみ」、会社や学校などの事業所から出る「事業系ごみ」ともに、全国値を上回っています。

一方、資源ごみとして活用されたリサイクル率は13.5%(平成26年度)となっており、全国最下位という状況です。つまり、青森県民は、資源として生かせるものをきちんと分別せず、家庭や事業所で毎日多くのごみを排出しているということになります。

もし、このままの状態が続くと、下記のように私たちの生活にさまざまな影響が及んできます。豊かな自然環境に恵まれた青森県を次世代の子どもたちに引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが「もったいない」という意識を持って、ごみの減量とリサイクルに取り組んでいく必要があります。

問題1 天然資源の枯渇

私たちの身のまわりにあるものは、限りある資源で作られています。また、ごみを処理する際にも、石油などの貴重なエネルギー資源が使われています。

問題2 地球の温暖化

ごみを燃やす時には、温室効果ガスである二酸化炭素が発生します。温室効果ガスが増えると地球温暖化が進み、地球環境にさまざまな影響を及ぼします。

問題3 最終処分場の逼迫

燃やせないごみなどは、最終処分場に埋め立てられますが、その許容量には限りがあります。新たに最終処分場を造るためには、多くの費用がかかります。

問題4 ごみの処理に使われるのは税金

ごみ処理にかかる費用は、税金でまかなわれています。ごみの排出量が多く、リサイクル率が低い青森県の一般廃棄物処理経費は、全国値を上回っています。

第3次青森県循環型社会形成推進計画

3つの「R」で循環型の社会へ

県は、これまででも、ごみ減量・リサイクル推進に向けてさまざまな取組を行ってまいりました。しかし、残念ながら依然として本県の1人1日当たりのごみ排出量は多く、リサイクル率が低いという状況が続いています。

県は、今年3月に、「第3次青森県循環型社会形成推進計画」(平成28年度～32年度の5か年計画)を策定しました。

計画では、ごみになるものを減らす「Reduce(リデュース)」、ものを繰り返し使う「Reuse(リユース)」、資源として再び利用する「Recycle(リサイクル)」の3つの「R」を推進することにより、天然資源の消費を抑え、環境への負荷が低減される循環型社会を目指しています。

目標を定めてごみを減らす

計画では、平成32年度の1人1日当たりのごみ排出量を、980g(生活系680g、事業系300g)に、また、平成32年度のリサイクル率を25%にするという目標を掲げています。

日々の暮らしの中で、一人ひとりがほんの少し意識するだけでも、青森県のごみの量は確実に減っていきはす！循環型社会の実現に向けて一緒に取り組んでいきましょう。

詳しくは、県庁HP

Q 検索

地球温暖化を防ぐために

あおもリエコの環(わ)スマイルプロジェクト

身近な省エネで地球温暖化防止を！

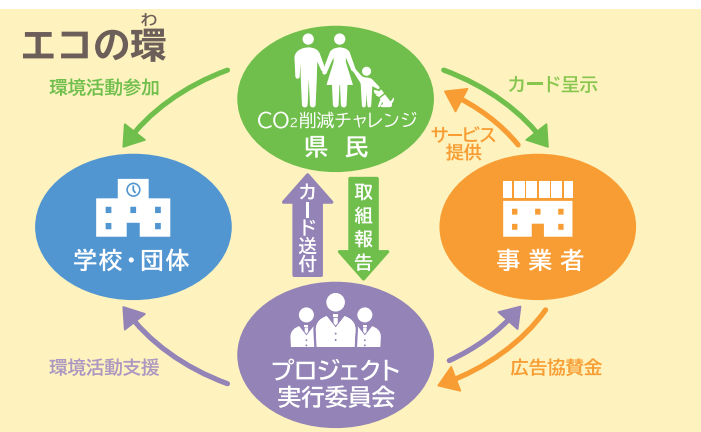
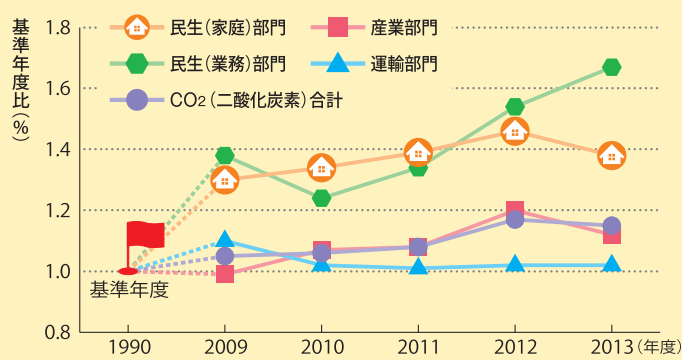
地球温暖化の大きな要因となっている温室効果ガスの県内排出量(2013年度)は、青森県地球温暖化対策推進計画の基準年度である1990年度と比べて15.6%の増加、特に家庭部門では37.8%も増加しています。

私たち一人ひとりが普段の生活の中で省エネに取り組み、温室効果ガスの排出量を減らすことが必要とされています。

県民一丸となって、エコの環を広げよう！

県は、県民・事業者・学校・団体などが互いに協力しながら、ごみの減量やリサイクル、省エネなどのエコ活動に取り組む県民運動「あおもリエコの環(わ)スマイルプロジェクト」を進めています。

部門別のCO2排出量の推移[基準年度比]



詳しくは、県庁HP
あおもリエコの環 Q 検索

県民の皆さんが「エコの環」に登録すると、「モッテコーカード」を取得でき、協力店で買い物や食事をすると各種サービスを受けることができます。また、「エコの環」ホームページからチェックシートでエコ活動を報告すると、どのくらいCO2(二酸化炭素)を削減できたか簡単に知ることができます。登録は簡単！「エコの環」ホームページまたは実行委員会事務局(青森県地球温暖化防止活動推進センター ☎017-721-2480)までどうぞ！



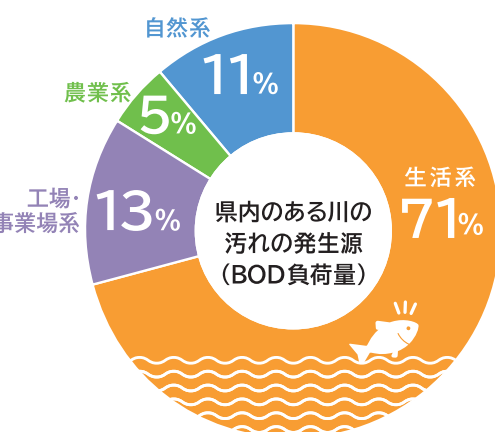
県民の皆さんが「エコの環」に登録すると、「モッテコーカード」を取得でき、協力店で買い物や食事をすると各種サービスを受けることができます。

川や海などの汚れを減らすために

今日からはじめよう生活排水対策～家庭でのちょっとした心掛け～

生活排水が、川や海などを汚しています！

川や海などの汚れの主な原因は、暮らしの中から出る生活排水です。特に、合併処理浄化槽や下水道等が整備されていない場合は、トイレ以外の風呂、台所、洗たくなどの生活雑排水の多くが未処理のまま放流されており、川の汚れの大きな原因になっています。例えば、しょう油大さじ1杯(15ml)を流した場合、魚が住めるような水にするためには、浴槽1.5杯分(450ℓ)のきれいな水が必要だとされています。家庭でのちょっとした心掛けで、川や海などの水の汚れを減らしましょう。



もし、これだけ流したら…魚が住めるまで薄めるために必要なきれいな水の量は浴槽(300ℓ)何杯分？

使用済みの天ぷら油(500ml)	▶ 330杯
マヨネーズ(大さじ1杯 15ml)	▶ 12杯
牛乳(200ml)	▶ 10杯
米のとぎ汁(米3カップ分 2,400ml)	▶ 5.6杯
味噌汁(1人前 200ml)	▶ 4.7杯
ラーメンの汁(1人前 200ml)	▶ 3.3杯
しょう油(大さじ1杯 15ml)	▶ 1.5杯

もったいない・あおり県民運動展開中

3R 実践編

「3R」とは、ごみを減らし、循環型社会をつかっていくためのキーワード！
「Reduce」「Reuse」「Recycle」の言葉の頭文字を取ったものです。

1 リデュース [Reduce]

生ごみ・食品ロスを減らす「3つのきる」

1つめの「きる」→食材は使いきる



2つめの「きる」→作った料理は食べきる



3つめの「きる」→ごみを出すときは、水気をきる

生ゴミの重さのうち約8割は水分です。水気をしぼってごみに出せば、重量も燃やす際のエネルギーも節約できます。



ごみになるものを減らす



2 リユース [Reuse]

使えるものは、繰り返し使用する

衣類も回収しています

まだ着られるけど、サイズが合わなくなったりして、不要となった洋服はありませんか？ 古紙リサイクルセンターのほか、一部の市町村では家庭で不要となった衣類を回収して、再利用する取組を行っています。



【古紙リサイクルセンターでは、衣類も回収しています】

詳しくは、県庁 HP [古紙リサイクルセンター](#) このほりが目印

ものをくりかえし使用する

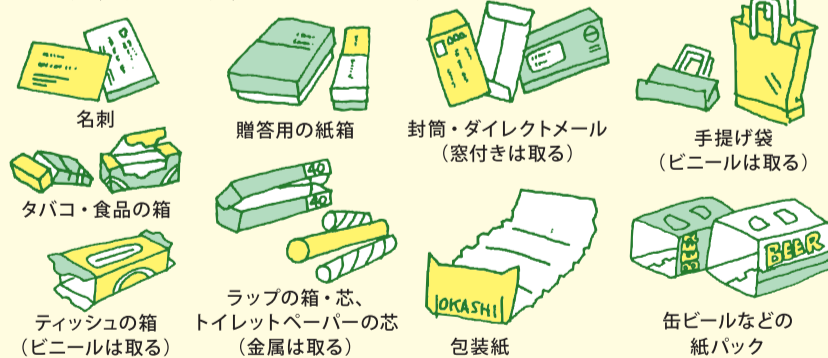


3 リサイクル [Recycle]

分別して、資源となるものを再び利用する

新聞、雑誌、本、段ボールはもちろん、「雑紙」も貴重な資源です。

◎雑紙(その他紙)って、こんな紙



小さな雑紙は古封筒や紙袋に入れてまとめると便利です。

雑紙の上手なまとめ方



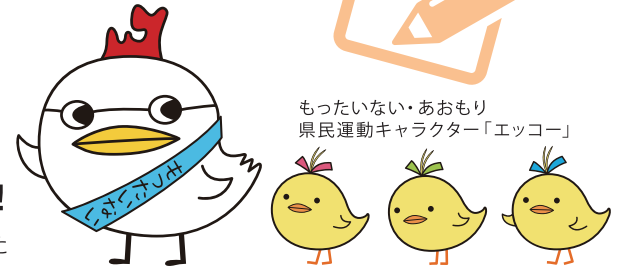
- ◎お住まいの市町村のルールに従って、資源物とごみを正しく分別しましょう。
- ◎町内会や学校などが行う集団回収やスーパーなどの店頭回収、古紙リサイクルセンターなどを日頃から上手に活用しましょう。
- ◎古くなったり、壊れたりしたデジカメや携帯電話などの小型家電の回収がはじまっています。詳しくはお住まいの市町村へお問い合わせください。

暮らしの中の省エネ度チェック



暮らしの中のムダをなくそう！

日頃の習慣を振り返り、「もったいない」を意識することで、省エネ、そして地球温暖化防止につながります。



もったいない・あおもり県民運動キャラクター「エコカー」

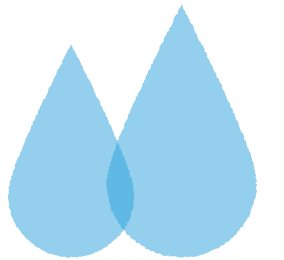
■下記の取組項目をどの程度実施できたか、日常の取組をチェックしてみましょう！

◎:とても良くできた ○:まあまあできた △:どちらとも言えない ▲:あまりできなかった ×:全くできなかった

No	取組項目	チェック
省エネの取組		
1	不要な照明をつけっぱなしにしない	
2	テレビ番組を選び、つけっぱなしにしない	
3	冷蔵庫にもものを詰め込みすぎない、無駄な開閉はしない	
4	炊飯ジャーで長時間保温をしない	
5	夜間や外出時は電気ポットの保温を止める	
6	暖房を使う場合には温度設定は20℃以下にする	
7	冷房を使う場合には温度設定は28℃以上に設定する	
8	出かけるときには早めに暖房、冷房を切る	
9	パソコン、電気製品は使わないときはコンセントからプラグを抜く	

No	取組項目	チェック
10	温水洗浄便座の場合にはフタを閉める、又は設定温度を低めに	
11	ガスの火はナベからはみ出さないようにする	
12	お風呂は家族が続けて入り、できるだけ追い炊きをしない	
13	食器洗いのお湯を流しっぱなしにしない	
14	洗面や食器洗いは水かぬるめのお湯を使うようにする	
15	できるだけ家族がいっしょの部屋ですごす	
エコドライブ・公共交通機関利用		
16	自動車を使うときはふんわりスタート、アイドリングストップ	
17	通勤・通学で、公共交通機関を利用するなど、自家用車の使用を控える	
18	近所への外出は車の使用を控え、徒歩や自転車にする	

家庭でできる生活排水対策



毎日、台所やお風呂などから出る生活排水。日々のちょっとした心掛けで川や海の汚れを減らすことができます。まずは、今日できることから始めてみませんか。

料理のくずは？
調理くずや食べ残しの固形物は、水切り袋や微細目ストレーナーなどで回収し、ゴミに出すか肥料として土に返しましょう。

米のとぎ汁は？
庭木や畑にまいたり、食器洗いに利用。面倒だと思ったら、1回目の濃いものだけでも実行してみましょう。

石けん・シャンプーは？
石けん、シャンプー、リンスなどは適量を。

料理の時は？
調理の手順や残りもの利用で污水やゴミを減らしましょう。また、食べ残しが無いよう作りすぎに気をつけましょう。

お風呂では

洗剤・石けんは？
洗剤・石けんは、リンを含まないものを使用し、決められた量で。多めに使っても洗浄力はあまり変わりません。

ひどい油污れは？
油やソース、カレーなど汚れのひどい食器や鍋は、古布などで拭き取るか、ヘラでかき取ってから洗いましょう。

使い古しの天ぷら油は？
油こし器を利用し、炒めものに使いましょう。処分する時は、牛乳パックに古布を詰め、油を吸わせた後、燃えるゴミへ。

洗たく時には

洗たくの水は？
お風呂の残り湯を洗たくや掃除に再利用。また、ペットボトルに入れてトイレの流し水にも利用できます。

◎2～5ページの特集記事掲載の県事業に関する問い合わせ先 / 「ごみを減らすために」 「第3次青森県循環型社会形成推進計画」 「地球温暖化を防ぐために」 「もったいない・あおもり県民運動展開中」 「暮らしの中の省エネ度チェック」: 環境政策課 ☎017-734-9243 「川や海などの汚れを減らすために」 「家庭でできる生活排水対策」: 環境保全課 ☎017-734-9242

放送局	番組名	放送日時	放送内容
青森放送	大好き、青森県。	6月19日(日) 17:00～17:15	ごみ減量とリサイクルについて
青森テレビ	みんなの県庁!	6月11日(土) 16:55～17:00	ごみ減量とリサイクルについて
青森朝日放送	メッセージ	6月4日(土) 9:30～9:35 6月11日(土) 9:30～9:35 6月18日(土) 9:30～9:35	ごみ減量とリサイクルについて 食品ロスの削減について 生活排水対策について

6月

暮らしの中で
環境のためにできること
関連番組 放送予定

旬を食べよう。

あおもり野菜で 簡単ヘルシークッキング

野辺地葉つきこかぶ編



土づくりが欠かせないため、定期的に土壌分析を行うなど徹底した品質管理を心掛けています。
クセのない風味は、サラダをはじめ、どんな料理とも相性抜群！葉っぱも捨てずに、まるごと味わってください。

ヤマセを逆手にとった、果物のように甘いかぶ。



野辺地葉つきこかぶ生産者
ニッ森 均(ふたつもり・ひとし)さん

ヤマセと呼ばれる冷たい偏東風が吹く気候風土を生かして栽培している「野辺地葉つきこかぶ」は、フルーツのような甘さと柔らかい食感が特徴です。1日のなかでも水分をたっぷり蓄え、葉っぱもピンと立った状態になるのが深夜の時間帯。そのため、私たちは午前2時前から収穫を行い、その日のうちに県内外に出荷しています。また、おいしい野菜には健康な

こかぶと野菜たっぷりペペロンチーノ炒め

こかぶ	200g
かぼちゃ	100g
プチトマト	100g
にんじん	50g
スナップえんどう	50g
ピーマン	100g
玉ねぎ	100g
ペペー帆立	150g
にんにく	20g
赤唐辛子	適宜
オリーブオイル	大さじ3
塩	小1・1/2

【一人分のエネルギー:224kcal/塩分:2.5g】

《作り方》

- ①こかぶは、茎を3cm残して切り落とし、皮付きのまま6〜8等分に切る。
- ②かぼちゃは、厚さ5mmの一口大に切り、にんじんは、5mmの輪切りにする。
- ③スナップえんどうは、筋をとり軽く塩茹でし、玉ねぎは繊維に直角に薄切りにする。
- ④ピーマンは、種をとり、そのまま塩ゆでし、輪切りにする。
- ⑤フライパンに半量のオリーブオイルを入れ、かぼちゃを弱火で両面焼きにし、一旦別皿にとる。
- ⑥④のフライパンに残りのオリーブオイルを加え、みじん切りにしたにんにくと輪切りの赤唐辛子と玉ねぎを加え、弱火でゆっくり炒める。
- ⑦玉ねぎがぐつぐつしたら、こかぶ・スナップえんどう・にんじん・プチトマト・ペペー帆立・塩を入れてさっくりと混ぜ合わせ、ふたをして弱火で10分ほど蒸し煮する。
- ⑧こかぶに軽く竹くしが通ったら、③のピーマンと④のかぼちゃを加え、器に盛り付けてできあがり。

るみ子先生のワンポイントアドバイス

普段、こかぶの皮をむいて調理する方が多いかもしれませんが、野辺地のこかぶは、皮が柔らかく、皮には栄養分がたっぷり。皮付きのまま調理すると食材を無駄にすることもなく、美味しさも倍増です！

レシピ開発・調理/管理栄養士 福土るみ子



私が出会った 青森のイッピン

vol. 1
ブナコ製品(ブナコ株式会社)

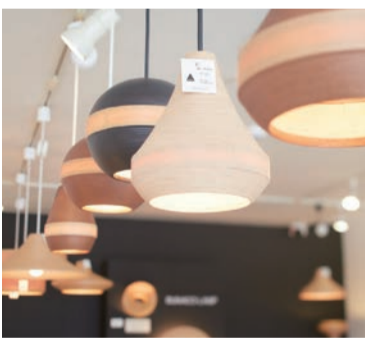
「優しくて柔らかい」
ブナコ製品

ブナコ製品を初めて目にした僕の第一印象は、「優しくて柔らかい」だった。色合いやフォルムが特徴的で、表紙の撮影で使用した照明も間接的に柔らかい光を放ち、優しい空間を作ってくれた。これらの製品を作っているブナコ株式会社(弘前市)さんの工場にお邪魔して、実際の生産工程を見させていただいた。

想像通り、工場内の目に付く作業はすべて手作業で、一人ひとりが丁寧に仕事に没頭しているのが印象的だった。

若い世代へも
受け継がれている技術

湯飲み茶わんを使つて平らな状態から立体に成型する工程が興味深く、相当修行が必要かと思えば、「コツを掴めば数ヶ月でマスターできる」と明るい笑顔で若い職人さんが教えてくれた。若い世代にも技術が受け継がれ、今後さらさら進化し続けていくであろう「ブナコ」に注目していきたいと思う。



本誌題字タイトル/「青森さらりイッピン」ロゴタイトル



書家
菊池 錦子 KINUKO KIKUCHI
【プロフィール】
青森県弘前市出身
個展で書を発表しているほか、自身の書と写真で綴った「ゆりかごII」の出版、NHK大河ドラマ「篤姫」・「江〜姫たちの戦国〜」の題字をはじめ、映像・イベントなどのタイトルや社名、商品名など多方面にわたって数多くの筆文字のロゴも手掛けている。

表紙撮影/「青森さらりイッピン」取材撮影・文



カメラマン
能登 直 Sunao Noto
【プロフィール】
1999年3月神奈川大学外国語学部 卒業。
その後、仙台のスタジオでアシスタントを経て、2005年に独立し a presto として活動中。
モデルを中心とした人物や広告、スポーツの撮影を行っている。公益社団法人日本広告写真家協会正会員・国際スポーツプレス協会会員・一般社団法人 日本スポーツプレス協会会員

「青森さらりイッピン」とは

青森県が誇る「生真面目な生産者や卓越した制作者などの“ヒト”」、「高い技術力・技によって生み出される“モノ”」、「青森ならではの仕組みや新しい取り組みなどの“コト”」の要素を満たす、「世界に誇れるもの」や「将来性に大いに期待できるもの」を「青森さらりイッピン」と表現したものです。

松くい虫被害を防ぎましょう!

松くい虫被害の概要

松くい虫被害は、マツノマダラカミキリによって運ばれるマツノザイセンチュウという小さな線虫によって松が枯れてしまう伝染病で、全国的に被害が広がっており、本県では昨年、深浦町の広戸・追良瀬地区で発生したことから、県内への拡大が心配されています。

松くい虫被害が拡大すると本県のかげがえのない財産である森林資源が失われるとともに、農林水産業をはじめとする産業・経済、さらには自然景観や観光資源、日々の生活にも大きな影響を与えることになります。

被害を防ぐための対策

今年度、県では4月から6月までを「**松くい虫被害対策重点地区防除強化期間**」として設定し、被害木の早期発見・早期駆除に取り組んでいます。新たな被害の発生を防ぐために、県民の皆様には次の3点について、ご協力をお願いします。

本県の豊かな森林を守るために、
県民の皆様のご協力をよろしくお願いします。

1 松の手入れなどでは、夏場の伐採を控えましょう。マツノマダラカミキリは6月から9月にかけて活発に飛び回り、伐採された松が出す特有の匂いを嗅ぎつけて集まる習性があります。そのため、伐採した松の周辺で繁殖する可能性があることから、松の伐採は、繁殖期を過ぎた10月から11月を目安に行うようお願いします。

2 松の丸太や苗木などを他県から持ち込むと、県内に松くい虫被害の侵入を許すことにつながります。他県のものではなく、県内産の松を利用しましょう。

3 松くい虫被害を防ぐためには、葉が黄色に変色したり、枯れている松を早い段階で取り除くことが大切です。自宅の庭木や街路樹、山林など、身の回りで枯れている、または枯れかかっている松を見つけたら、市町村役場、最寄りの地域県民局林業振興課、森林組合までお知らせください。

林政課 森林整備グループ

☎017-734-9513(直通)

メール(林政課所属ユーザアドレス) rinsei@pref.aomori.lg.jp

あおもり笑顔のおもてなしキャンペーン

～おもてなしの輪をどんどん広げましょう!!～

待ちに待った北海道新幹線が開業しました。青森県と道南地域の魅力を巡る新たな旅がいよいよはじまります。

県では、青森を楽しみに訪れるお客様を、県民一人ひとりがおもてなしの心でお迎えすることで、「青森県に来て良かった。もう一度訪れたい」と心から感じていただけるよう、「あおもり笑顔のおもてなしキャンペーン」を実施しています。

このキャンペーンでは、『自分達ができる・してあげたい「おもてなし(取組)」』と、『うれしくなった、感動した、思わず笑顔になった「おもてなし(体験)」』を募集し、皆さんの取組や体験をホームページで紹介しています。

7月からの国内最大規模の観光キャンペーン「青森県・函館 destination キャンペーン」の開催、エネルギーな夏祭りなど、これから多くのお客様が本県を訪れる時期を迎えます。

明るい笑顔であいさつなど、日々のちょっとした「おもてなし」でも、みんなが共有・共感することで、おもてなしの輪はどんどん広がっていきます。

青森県を訪れるお客様も、迎える私たちも笑顔になる「おもてなし」を大募集していますので、みなさんの取組・体験をふるってご応募ください。

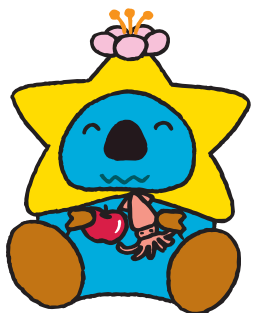
■応募方法

「あおもり笑顔のおもてなしキャンペーン」ホームページの「Web応募フォーム」にてご応募ください。

<http://www.aomori-egao.com>

あおもり おもてなし

青森県・函館 destination キャンペーン
マスコットキャラクター「いくべえ」®



観光企画課 企画戦略グループ

☎017-734-9385

県職員からのお知らせコーナー | 広報広聴課 太田聡美

未来は「アナタの声」で変えられる!

「だれでも」「いつでも」「どこからでも」県民の皆様から、前向きで具体的な提案をお待ちしています。お寄せいただいた提案は、知事が目を通し、県政を進める上での参考とさせていただきます。お寄せいただいた声の中には、実際に県の事業として具体化されているものもあります。ぜひ、あなたも提案をお寄せください。

県民の声が事業として具体化された事例

スポーツを通じた健康づくり(H27～H28)

トップアスリートと一緒にスポーツを楽しむ交流会やスポーツを活用した健康づくり教室、スポーツと健康を考えるシンポジウムの開催を通して、スポーツに親しむ意欲の向上や運動習慣の定着を図るなど、スポーツに親しみながら健康を維持・増進していく取組を進めています。



県政・わたしの提案

〒 郵送・FAXで提案する場合

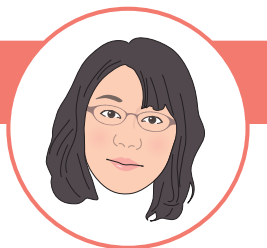
- 〒030-8570 青森県広報広聴課「県政・わたしの提案」係
- FAX 017-734-8031

県庁ホームページの入力フォーム・電子メールから提案する場合

県政・わたしの提案

※お寄せいただいた提案と県の回答は、内容を要約し、個人が特定されないようにしたうえで、ホームページ上に掲載しています。(年代・性別・居住市町村名は掲載されません。)

広報広聴課 広聴グループ ☎017-734-9138





未来を考える3R

青森県知事 三村 申吾

青森県の民生部門において、短命県返上とともに大きな課題となっているのが、ごみ問題(一人1日当たりのごみ排出量、リサイクル率が全国最下位レベル)である。

短命県返上については、官民あがての「今を変えれば、未来は変わる!!」のキャッチフレーズのもとでヘルスリテラシー(健やか力)がぐんぐん進みつつあると実感している。

ごみ問題においても、3R(スリーアール)運動=「リデュース」「リユース」「リサイクル」(今月号4・5ページ参照)の掛け声のもと、県民の皆様の関心が高まって来ていると確信している。

これについても、健康問題と同様、長期的には若い世代の動向が未来を描くこととなる。

そこで、昨年夏に県と市町村が連携し、雑紙(ぞつがみ)の資源回収強化をテーマとして展開した「ごみ減量・リサイクル緊急キャンペーン」

の中で、「小学生雑紙回収チャレンジ」を実施した。

具体的には、小学校に雑紙の専用回収袋を配布し、夏休み期間中、小学生に家庭における雑紙回収にチャレンジしてもらった。

県内の215校46,217人の小学生たちが参加し、夏休み明けに13.7トンもの雑紙(これまで可燃ごみとして処理されていた!)が回収された事には、私たちが共に驚き、かつ、子供たちに感謝することとなった。

ちなみに、1位の弘前市立三省小学校の1人当たり3.8kg、2位の階上町立階上小学校の同3.6kgの回収量には、我々大人も、もっと本気で頑張らねばと、本当に頭が下がる思いだった。

若い世代、子どもたちがこうして共にごみ問題を学び、実践してくれる事は、未来を変える大きな力だ。

今後とも、いろんな具体の施策を通じて3Rを浸透させ、「未来を変える挑戦」を環境の分野でもしっかりと前進させたい。

AOMORI information

あomorいんフォメーション

白神まるごと体験博覧会を開催します!

白神山地を遊び尽くそう!7月1日~9月30日の期間、登山やトレッキングのほか、白神の清流を歩くシャワークライミングや緩やかな渓谷でのラフティング、白神岳を海から眺めるシーカヤック、ブナの大木に登ってつかの間の空中遊泳など、今までの白神にはないたくさんの体験プログラムを集中的に実施します!体験プログラム予約サイト「白神カレンダー」をチェックしてみてください。



※詳しくは、HP [白神カレンダー](#) [Q検索](#)
自然保護課 ☎017-734-9257

十和田八甲田地域国立公園指定80周年記念イベントのお知らせ

十和田八甲田地域国立公園指定80周年を記念して、十和田湖畔で自然保護と環境について学び、遊び、体験するイベントを行います。十和田湖「湖水まつり」と同時開催!ぜひ、皆さんでお越しください。

■日時/平成28年7月16日(土) 13:00~15:00 17日(日) 10:00~15:00
■場所/十和田ビジターセンター 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486

燃料電池車「MIRAI」の展示・体験乗車【協力:トヨタ自動車(株)】

水素で走り「水」しか排出しない究極の環境車が十和田湖にやってくる!



Mr.マサック実験ショー&三沢航空科学館出前工作教室

水がエネルギーに? 取り出す、貯める、そして...

上北地域県民局地域支援室 ☎0176-22-8194

平成28年経済センサスー活動調査 経済センサス 活動調査

「平成28年経済センサスー活動調査」が、今年6月1日を調査期日として、実施されます。この調査は、国内の全産業分野における事業所や企業の経済活動の状況を全国的・地域別に明らかにすることを目的としています。

また、回答に当たっては、紙の調査票のほか、今回の調査から、全ての事業所でインターネットでの回答ができるようになりました。

日本の経済力を知るための重要な調査ですので、ご回答をお願いします。

※詳しくは、HP [経済センサス 2016](#) [Q検索](#)
統計分析課 ☎017-734-9167



自動車税 納税はお早めに! 自動車税の納期限は6月30日(木)です。

自動車税は、金融機関のほか、全国のコンビニで納税できます。また、パソコン・携帯電話の専用サイトからクレジットカードでも納税できます。(別途、手数料324円がかかります。)詳しくは、納税通知書の同封チラシをご覧ください。

クレジット納税 Yahoo!公金支払いサイト [Yahoo! 公金支払い](#) [Q検索](#)
東青地域県民局県税課第三課 ☎017-734-9974

みなさんと県庁を結ぶ 県政インフォメーション

<p>テレビ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■RAB[LINK/青森県](30秒スポット) ■RAB[大好き、青森県。](第三日曜日) 17:00~17:15 (放送週が変更になることがあります) ■ATV[みんなの県庁!](土) 16:55~17:00 ■ABA[メッセージ](土) 9:30~9:35 	<p>ラジオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■RAB[青森県広報タイム](月)~(木) 7:30~7:35 ■エフエム青森[あomorいふあん](月)~(金) 16:55~17:00 ■エフエム青森[申吾のほっとチャンネル](第一日曜日) 7:00~7:30 	<p>新聞</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「広報あomorいけん」 毎月1日・16日 ■東奥日報・デューリー東北・陸奥新報
---	---	---

■青森県広報広聴課公式Facebook (<https://www.facebook.com/AomoriPref.koho>) ■青森県庁Twitterアカウント(@AomoriPref) ■青森県広報広聴課Twitterアカウント(@aomorist)

編集発行/青森県広報広聴課 ☎017-734-9137 〒030-8570 青森市長島1-1-1/県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/> ※「県民だよりあomorい」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。この印刷物は527,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.2円です。

県民だよりあomorいの印刷に係る電力2,964kwhは、県内の住宅用太陽光発電で発電されたグリーンな環境価値を活用し、グリーン化されています。詳しくは県HP [グリーン電力証書](#) [Q検索](#)